

一般質問通告者一覧表（9月17日）

令和7年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間						
		項目	細目	詳細								
1	大下 博隆	1	東広島市自転車活用推進計画について	(1) 道路整備について	2026年4月から16歳以上を対象に自転車の交通違反に対しても青切符による反則金制度が始まる。東広島市自転車活用推進計画からは、安心して「左側通行・交差点減速」を実践できる走行空間の確保が最優先と考えられる。	市 長 副 市 長 教 育 長 担 当 部 局 長	35分					
				ア	今年度の自転車活用推進計画における道路整備の進捗状況と予定について伺う。							
				イ	道路幅の狭い場所や段差のある場所等の危険箇所の把握状況を伺う。							
				ウ	市内高等学校の自転車による通学路の把握状況を伺う。							
				エ	現状、逆走や歩道走行時の徐行違反といった状況を目にする事が多いと感じるが、どのような啓発活動を行っているのか伺う。							
				オ	外国人市民の方への啓発をどのように行っていくのか伺う。							
				カ	新しい法の適用範囲に対し、道路整備が追いつかないのではと感じるが、計画の実効性を高めるための取り組みはどのように行っていくのか伺う。							
				(2) 自転車活用の促進について	気軽に始められる有酸素運動として、ウォーキングや散歩、ジョギングといったことが挙げられるが、それらと比較したとき、サイクリングは関節への負担が少なく、運動による怪我のリスクが低く、また、長時間の運動に適しているということから、より心肺機能増進に有効であり、また、認知機能の維持・改善にも資するとの研究もある。健康面や経済面でのメリットを明確に打ち出し、自転車活用の促進を図っていくべきであると感じる。							
				ア	通勤通学を含め、日常生活の中に自転車の利用を取り入れることによる健康増進効果についての所見を伺う。							
				イ	東広島市自転車活用推進計画のパブリックコメントにおいては、「起伏の多い本市においては電動アシスト自転車の普及が望ましいが価格面に難点がある。」といった意見が寄せられており、また、アンケートの結果では「自転車を持っていないから」が自転車を利用しない理由の第一位となっている。国内の他市町では電動アシスト自転車購入への補助を行っているところもあることから、地理的要因を含めた先進地の研究を行ってはどうかと思うが見解を伺う。							
				(3) サイクルイベントについて	自動車から自転車へという行動変容によるCO2削減効果や、健康増進もさることながら、さすがスポーツ王国広島、広島にもプロ自転車ロードレースチームがある等、スポーツとしてのサイクリングにも注目が集まっている。							
				ア	東広島市近郊ではどのようなサイクルイベントが行われているか伺う。							
				イ	コロナ禍前には広島大学で第一回東広島サイクルロードレースが行われたとの記事を目にしたが、当時の開催状況や賑わいについて伺う。							
				ウ	関係人口創出、にぎわい創出の観点からの行政主催のサイクルイベントの実施についての見解を伺う。							
				2	2			農業政策について	(1) 酷暑対策について	毎年のように暑さが増しており、雨も安定的に降らない状況が続いている。暑さにはある程度強いはずの夏野菜の生育にまで影響が出るほどの暑さになっている。市内農業生産の衰退につながらないよう調査研究、技術・情報共有を行っていくべきと考える。		
									ア	なす産地強化支援事業の状況、効果について伺う。		
									イ	露地野菜の酷暑対策、干害対策について市の取り組みを伺う。		

一般質問通告者一覧表（9月17日）

令和7年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間	
		項目	細目	詳細			
2	田坂 武文	1	効率的で公正な事務の執行について	(1) 入札契約制度について 東広島市の入札・契約については、第三者機関として入札監視委員会を設置されるなど、公正性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図られている。しかしながら、災害に対応出来る工事業者の育成、工事発注の集中などに課題がある。	市 長 副 市 長 教 育 長 担当部局長	35分	
				ア 総合評価落札方式の入札の競争性等について伺う。			
				イ 災害に対応出来る工事業者の育成に繋がる入札制度について伺う。			
				ウ 建設工事の発注の平準化の取組みについて伺う。			
				エ 少額随意契約の契約・検査等について伺う。			
				オ プロポーザル方式及び設計競技方式事業者選定委員会委員の構成の在り方等について伺う。			
				カ 特定目的随意契約の契約状況等について伺う。			
				(2) 行政手続に係る審査基準と標準処理期間について 行政運営において公正の確保と透明性の向上が求められている。			
		ア 行政手続に係る審査基準と標準処理期間等の点検、見直しの進捗状況等について伺う。					
		2	公共施設の適正な管理について	(1) 第2次東広島市公共施設等総合管理計画の見直しについて 公共施設の老朽化が進行する中、今後、人口減少等により厳しい財政状況や公共施設の利用需要が変化することが予測されている。 中長期的視点で更新・統廃合・長寿命化、維持修繕を計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の適正な配置が必要となっている。			
							ア これまでの取組みの進捗状況と評価について伺う。
							イ 計画の見直しの方向性等について伺う。
							ウ 統廃合後の跡地活用について伺う。
							エ 民間のノウハウの活用について伺う。

一般質問通告者一覧表（9月17日）

令和7年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間					
		項目	細目	詳細							
3	宮川 誠子	1	GHQの洗脳による戦後教育は日本人から国家観を喪失させた	(1)	いわゆる「歴史認識」を検証する 第2次世界大戦の戦勝国が、敗戦国である日本に押し付けた歴史認識、つまり「日本は侵略戦争を行いアジアの人々に迷惑をかけ、日本軍は卑劣で野蛮な残虐行為を行った」というストーリーが今でも夏になると繰り返されているが、証拠に基づき史実を検証する。	市長 副市長 教育長 担当部長	35分				
								ア	日韓併合への歴史的経緯と日本による統治を求めた朝鮮人		
								イ	日本の統治下で劇的に進んだ朝鮮の近代化		
								ウ	日本は「ハングルを奪って日本語を押し付けた」か？		
								エ	従軍慰安婦・強制連行の真実		
								オ	「南京大虐殺」のウソ		
								カ	本市の使っている歴史教科書 - 近隣諸国条項の影響か？		
								(2)	日本人が持っていた国家観 日本人が失ってしまった国家観を取り戻すために、日本が大切にしていた修身教育とGHQの洗脳工作を明らかにする。	ア	諸外国から称賛された教育勅語と修身教科書
										イ	GHQの洗脳計画としての四大教育指令
										ウ	天皇の大御宝としての日本人

一般質問通告者一覧表（9月17日）

令和7年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨			答弁者	発言時間		
		項目	細目	詳細				
4	片山 貴志	1	大屋根広場について	(1) 大屋根広場の今後の活用について 来年から着工される大屋根広場であるが、本市中心市街地にてにぎわいを創り出し、活性化に繋げることがマストである大型事業である。先月には2日間のワークショップが開催され、地域住民や子育て世代や学生の方など、様々な意見が提案されたところである。市民の意見をどのように取り入れながら、活性化に繋げていくのか、本市の見解を問う。	市副市長 教育長 担当部長	35分		
				ア			お土産物店やカフェなどの常設店設置の意見が多くあったが、それに対する本市の見解を問う。	
				イ			公園から道路への飛び出しなどを防ぐための安全対策について問う。	
				ウ			騒音やゴミ、そして渋滞問題も指摘されていたが、本市の対策について問う。	
				エ			平日300人、休日1,000人が利用し、月に一回5,000人程度を呼び込むイベントの開催という計画があったが、経済効果においてはどのくらい見込まれているのか問う。	
				オ			跡地の駐車場が無くなり、週末時の駐車場不足が懸念される。市役所駐車場と岡町駐車場と民間駐車場で吸収できない時の対策を問う。	
				カ			ワークショップ主催者側より、平日は憩いの場所で良い、完成がゴールではなくスタートであるという発言があったようだが、その本意はどのようなものか問う。	
				キ			デザインビルドによるメリットとしてコスト削減を挙げられていたが、どのくらいの削減効果が期待できるのか問う。	
				ク			現在、考えられている大屋根広場の運営方法について問う。	
				ケ			周辺地域を含めた賑わいづくりにおけるポイントや施策について問う。	
		2	Hi-Bizについて	(1) Hi-Bizの今後の運営について 2020年にHi-Bizが開所してから5年が経過した。経費をかけず売上を向上する方法を提案するという考え方により運営されてきたが、実績も含め一度検証と見直しをしていく時期であると考えて。事業者の強みを生かし、他の事業者との連携により価値を見だしつつ、売上を向上するモデルであったと思う。コーディネーターの能力に依存する今のスタンスで、今後も続けていくのか。時代が目まぐるしく変わっていく中で、新たな仕組みにより、改変していく必要性を感じる。	市副市長 教育長 担当部長	35分		
							ア	Hi-Bizの人件費や事務所費ほか運営経費について問う。
							イ	Hi-Bizのこれまでの支援や体制の変遷について問う。
							ウ	経費をかけずに売上を増やすというスタンスについて、継続していくのか問う。
							エ	事業者同士を繋げていくのであれば、商工会議所内での連携の方が効率的ではないかと考えるが、見解を問う。
							オ	AIやITの発達をどのように捉え、人材に頼るこの仕組みをこのまま続けていくつもりなのか、本市の見解を問う。